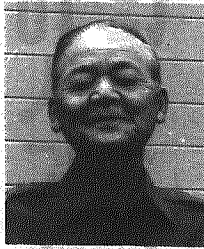


交通安全は家庭から



町交通安全推進
委員会会長
那須野庄三郎
(中学通り・67歳)

交通安全推進委員に任命されてから半年たちました。この四月からの半年の間に、街頭指導にたったのは三十回くらいでしょうか。小学生や自転車通学の中学生が安全に登校できるよう指導しています。あとは自治会長さんらと協力して、交差点にストップマークをつけました。特につけたばかりの時はよく目立ったので、交通に注意させるという点で効果があったように思っています。

交通安全推進委員に任命されてから半年たちました。

この四月からの半年の間に、街頭指導にたったのは三十回くらいでしょうか。小学生や自転車通学の中学生が安全に登校できるよう指導しています。

あとは自治会長さんらと協力して、交差点にストップマークをつけました。特につけたばかりの時はよく目立ったので、交通に注意させるという点で効果があったように思っています。

交通安全推進委員に任命されてから半年たちました。

この四月からの半年の間に、街頭指導にたったのは三十回くらいでしょうか。小学生や自転車通学の中学生が安全に登校できるよう指導しています。

あとは自治会長さんらと協力して、交差点にストップマークをつけました。特につけたばかりの時はよく目立ったので、交通に注意させるという点で効果があったように思っています。

交通安全推進委員に任命されてから半年たちました。

この四月からの半年の間に、街頭指導にたったのは三十回くらいでしょうか。小学生や自転車通学の中学生が安全に登校できるよう指導しています。

あとは自治会長さんらと協力して、交差点にストップマークをつけました。特につけたばかりの時はよく目立ったので、交通に注意させるという点で効果があったように思っています。

交通安全推進委員に任命されてから半年たちました。

この四月からの半年の間に、街頭指導にたったのは三十回くらいでしょうか。小学生や自転車通学の中学生が安全に登校できるよう指導しています。

増え続ける交通事故

昨年、県内で発生した交通事故は一万一千三百十一件で、二百二十九人が亡くなり、一万三千四百二十四人がけがをしました。町でも増加する交通事故に対処するため、一人だった交通安全担当職員を二人に増やし、それまで以上に交通安全対策に力を入れました。特に、十月から十一月にかけて死亡事故が三件たてつづけに発生したため、交通死亡事故抑止緊急対策本部を十一月二十日から十二月十九日まで設置し、街頭指導や宣伝活動を強化しました。

結果として昨年は百三十五件の事故が起き、死者五人、傷者百六十六人でした。死者数、傷者数とも過去十年間の最多記録となりました。それでは、今年にはいつてから

の交通事故の発生状況はどうなっているのでしょうか。

まず、県内の交通事故の発生状況を見てみましょう。八月末日現在で七千二百七件、死者百三十一人、傷者八千七百七人でした。昨年に比べ件数は七件、死者は十一人減っていますが、傷者は六十五人増えています。

次に、町内での交通事故の状況を見てみましょう。同じく八月末日までです。事故発生件数は九十五件、傷者百二十八人、死者一人。昨年に比べ、件数は十四件増え、傷者も十九人増えており、事故が増え続ける傾向は変わっていません。

今までにない取り組み

それでは町はどのような対応を行ってきたのでしょうか。

それぞれの地域の中から交通安全

交通安全推進委員に任命されて

から半年たちました。

この四月からの半年の間に、街頭指導にたったのは三十回くらい

でしょうか。小学生や自転車通学の中学生が安全に登校できるよう

指導しています。

あとは自治会長さんらと協力して、

交差点にストップマークをつけました。

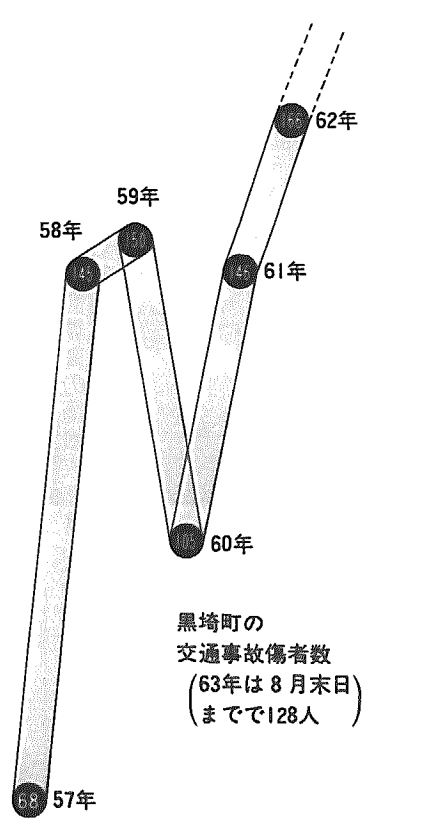
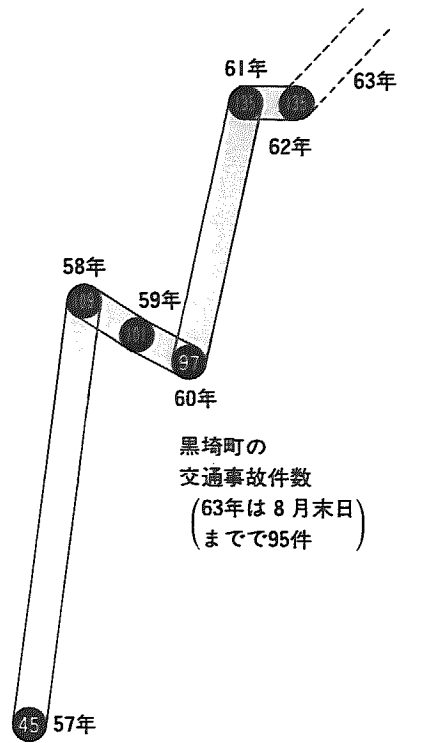
特につけたばかりの時はよく目立

ったので、交通に注意させるという

点で効果があったように思っています。

交通安全推進委員に任命されてから半年

だれが止める交通事故



交通事故が減りません。九月二十日までに黒埼町で百一件の人身事故が発生し、傷者は百三十五人、死亡事故が一件起きています。全国的には事故件数、傷者数は昨年よりわずかに増えているか減っているのですが、町内の事故件数は一八%、傷者数は二八%、昨年より大幅に増加しています。昨年、町内で五件の死亡事故が発生し、警察や町、交通関係者は交通安全対策にこれまでにないくらい力を入れて取り組み交通安全意識の高揚に努めてきました。しかし、町や警察の指導、取締りだけでは交通事故はなくなりません。町を取り巻く交通状況も決してよくありません。国道が町を縦断し、高速道路のインタチェンジがあり、交通量は年々増加しています。交通事故をなくすにはどうしたらよいか、改めて考えてみましょう。

全の気運を盛り上げ、意識を高めることが結果的に交通事故の防止に役立ちます。

そこで、町では今年の四月に交通安全推進員制度を設け、各自治会から一人ずつ、全部で五十七人の交通安全推進員を任命しました。任命された推進員は、それぞれの地域で交通安全運動に積極的に参加・活躍しています。

また町内の各自治会で、一時停止の標識のない交差点などに通行者の注意を促すストップマークを設置しました。

町・警察の実施してきた交通安全運動としては、春の全国交通安全運動、ゴールデンウィーク交通安全防止運動、夏の交通事故防止運動があります。朝の街頭指導、指導車によるパトロール、運転者講習会(交通安全協会黒埼支部主催)などを行ってきました。

今後の私たちの課題は①家庭での交通安全についての話し合い、②自転車の指導、③予測できる事故の防止の三点です。特に、家庭で交通安全についての話し合いことは子供や老人といった交通弱者を守るうえで大事です。地域の中から、家庭で話し合うような雰囲気作りをしていかななくては、と思っています。

交通安全推進委員に任命されて

から半年たちました。

この四月からの半年の間に、街頭指導にたったのは三十回くらい

でしょうか。小学生や自転車通学の中学生が安全に登校できるよう

指導しています。

あとは自治会長さんらと協力して、

交差点にストップマークをつけました。

特につけたばかりの時はよく目立

ったので、交通に注意させるという

点で効果があったように思っています。

交通安全推進委員に任命されてから半年

また、こうした運動期間以外にも、交通安全指導員と町担当職員で毎週金曜日にパトロールを実施したり、毎月十日を交通安全家庭の日と定め朝の街頭指導を行っていただきます。また、交通弱者の安全指導のために、今年の二月から三月にかけて、保育所園児対象の幼児交通安全教室、老人対象の交通安全



街頭指導に立つ町長

全教室を開催しました。さらに、交通安全に対する皆さんの考えを知るためアンケートを実施、その結果がまとまりました。(次ページ以降をご覧ください)

わずかな注意を

しかし、こうしたことを行っても事故が増え続けているのも事実です。

七月末までの事故原因を見てみましょう。件数は全部で七十八件ですが、前後左右の不確認による事故が三十六件で全体の半分近くをしめています。わき見などによる前方不注意が十四件、一時停止が七件、いずれもちよつとした注意を払うことで防げたはずの事故ばかりです。

運転者も歩行者も、お互い気をつけ、交通安全を意識することが求められています。

違反別事故件数(黒埼町内 63年1月~7月)

| | |
|---------------|-----|
| 信号無視 | 4 |
| 車間距離不保持 | 2 |
| 交差点でのルール違反 | 5 |
| 一時不停止等 | 7 |
| 整備不良車運転 | 1 |
| 過労運転 | 1 |
| ブレーキ操作不適 | 3 |
| 前方不注意 | 14 |
| 動静不注意 | 2 |
| 安全不確認 | 36 |
| 速度違反 | 1 |
| 手放し、ジグザグ運転 | 1 |
| 駐停車車両の直前直後の横断 | 1 |
| 計 | 78件 |